

県本部・活動拠点本部会議（8月22日・夕）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ 宇城拠点の移転完了： 保健所2階から「宇城広域連合建物2階（保健所裏手）」へ移動完了。オープンチャット等で関係者へ周知徹底。
- ・ 厚労省審議官視察対応： 8月25日の宇城拠点視察に向け、熊本DWAT（古賀氏等）を中心に対応予定。
- ・ 個別支援フォーマットの導入： 支援プロセス（導入・アセスメント・支援内容・効果）を可視化・蓄積するフォーマットを武田先生が作成。黒木先生やリデルライト担当職で確認の上、全拠点へ展開。避難者の今後の出口支援を検討するにあたって。
- ・ 派遣形態（遅番・夜勤）の確認： 日中不在の在宅・避難者アセスメントのため、遅番等の変更可否を各県DWATへ確認（8/25期限）。
- ・ 桜ヶ丘別荘（施設）の移行協議決定： 8月24日（月）9:30より県庁・福祉課・施設側で協議を実施。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- ・ 避難所内での通院支援、支援ケース記録の一本化作業（日赤・DMAT等と連携）の進行。長期化に伴う障害児の学校不安や認知症高齢者の介護負荷増大の把握。

● 宇城地域

- ・ 旧豊野小への避難所移動、松橋東での集約準備。技能実習生の発熱受診、5歳児の地震トラウマ相談、聴覚障害者のボランティア要望連携、高齢女性の罹災証明支援など個別対応を実施。

● 氷川地域

- ・ 氷川中での避難所設営・移動調査、西務所・公民館での福祉避難所受け入れおよびレイアウト説明を実施。母子福祉センターの施設避難者の受け入れ要望調整。

● 本部

- ・ 窓口担当の変更（及川氏）、全国派遣ニーズの調整状況を報告。

■共有事項・確認事項

●個別支援データの収集支援

- ・ フォーマット記入のほか、写真送付や手書きメモ提出による本部代行入力も可能とする柔軟な運用。

●外部応援人員の受入

- ・ 危機管理教育研究所（小林氏等）からの応援者を本部・八代拠点中心に配置調整。

●在宅アセスメント事例の集約

- ・ 報道等への対応も含め、避難所から在宅復帰したケースや地域包括連携事例の情報を集約。

●宇城拠点への引き継ぎ強化

- ・ 拠点移動に伴う連絡不達を防ぐため、新規派遣者へのオリエンテーションと連絡用スマホの周知を徹底。

■今後検討が必要な事項

●福祉避難所の受け入れ問題への対応

- ・ 桜ヶ丘別荘利用者の受入に伴う福祉避難所の過密化回避と調整。

●避難所再編・集約に伴う名簿・追跡管理

- ・ 避難者の配置変更・退所進行に伴う名簿の突き合わせと事務体制の確保。